

各 位

2012年11月29日

会 社 名 サイバネットシステム株式会社
 代表取締役社長 田中邦明
 代表者の役職氏名 (東証第一部 コード番号:4312)
 お問い合わせ先 広報室室長 野口泰伸
 電 話 番 号 03-5297-3066

エンジニアのための技術教育「CAE ユニバーシティ」 e-learning 第二弾「CAEのための材料力学基礎講座」 開始のお知らせ

時間と場所を選ばず、効率よく学ぶ「材料力学基礎」のオンライン教室

サイバネットシステム株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:田中 邦明、以下「サイバネット」)は、CAE(※1)のリーディングカンパニーとして、CAE有効活用のために理論を学ぶエンジニア向け教育事業「CAE ユニバーシティ」を運営しております。この度、その e-learning 専門コースである「e-CAE University(イーシーエーイー ユニバーシティ)」の第二弾として「CAEのための材料力学基礎講座」を2012年11月29日より開講することをお知らせいたします。

機械設計CAE活用に必要な材料力学を学ぶ、セミナー形式のe-learning コース

「e-CAE University」は、多くの企業様向けに e-learning コンテンツを作成させていただいた経験やノウハウを集結した内容をWeb上から提供するサービスです。PCやスマートフォンからの受講が可能のため、場所や時間を選ばず学ぶことができます。

この度、機械設計において構造CAEを活用する際に必須となる材料力学を、セミナー形式で学べる e-learning 専門コース「CAEのための材料力学基礎講座」を開講いたします。当コースは e-CAE University 開講以来ご好評をいただいている「CAEの理解を深める106問」に続く第2弾となります。

材料力学を学んだことはあっても、いざ設計・開発となるとなかなかCAEを活用することができません。当コースは、CAEの活用を前提にしているエンジニアが、必ず抑えておくべき材料力学の基礎を学べるようになっております。

コースの内容は、CAE ユニバーシティで構造CAEの設計応用講座を担当している TMEC 技術士事務所所長の遠田治正氏が作成いたしました。

■ CAE ユニバーシティ講師 遠田治正氏の紹介

長年、三菱電機株式会社にて、設計、解析業務及びCAD、CAE人材育成に従事。現在は TMEC 技術士事務所所長であり、CAE ユニバーシティでは「構造CAEの設計応用講座」の担当講師であり、設計のためのCAE教育として人気を博している(詳細は CAE ユニバーシティ [講師紹介ページ](#) を参照)。

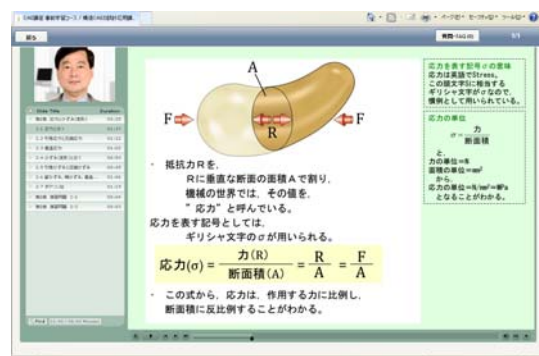


■ 講座内容

本コースは、前半4章と後半4章の体系となっております。構成は、前半及び後半の冒頭にレベルチェック、それぞれ4つの章のセミナー部分とその各章ごとに確認問題、最後に全体を通しての学習後レベルチェックとなっております。

学習者は、まず冒頭のレベルチェック部分で簡単な腕試しを行い、これから学習する材料力学分野の理解レベルを事前に確認できます。

次のセミナー部分では、講師の解説を聞きながら学習を進めていきます。解説は音声とスライドが連動し「大切なことは何か」



PRESS RELEASE

が、とてもわかりやすくなっております。

さらに、章ごとに確認問題を解くことで理解度を確認できます。問題が解けなかった場合や、更に理解度を深めたい場合は、関連する学習要素を解説しているページにリンクをたどることで効率的な反復学習が可能となります。

■ コースの概要

【コース名】CAEのための材料力学基礎講座

◆レベルチェック Part1 (知識確認 2 択問題 20 問)

第 1 章 材料力学とは

第 2 章 応力とひずみ (変形)

第 3 章 応力とひずみの関係

第 4 章 せん断応力とせん断ひずみ

◆レベルチェック Part2 (知識確認 2 択問題 20 問)

第 5 章 曲げ応力・曲げモーメントによって生じる応力

第 6 章 伸び・縮み・変位・回転

第 7 章 熱応力

第 8 章 座屈・重力・組み合わせ応力

◆学習後レベルチェック (2 択問題 40 問)

【利用開始日時】2012 年 11 月 29 日 (木)

【対象】構造 CAE ソフトウェアをお使いの方、あるいはこれから使おうとする方で、材料力学を学びたい方

【標準学習時間】4 時間程度 (レベルチェック 40 問+8 章分の講義+確認問題 35 題)

【受講料 (税込み)】26,250 円 (60 日間)

【詳細情報】 http://www.cybernet.co.jp/e-cae_univ/

■ e-learning の活用方法

当社の e-learning システムは、PC 及びスマートフォンからの学習が可能です。そのため、ネット環境があれば、お忙しい方でも、ちょっとした待ち時間や移動時間等を活用して学習することができます。また、ご利用期間中であれば、何度でも学習することができるので理解を高めることができます。

また、社内の CAE 教育研修の学習教材としてご利用いただくことで、ベースラインを引き上げ、その後の学習効果を大幅に高めることも可能となります。基礎力向上及び共通言語の習得により、社内の技術的なコミュニケーションの促進にも繋がります。

さらに、教育ご担当者が教育計画を設定するにあたって、当コースのレベルチェックテスト並びに既に提供中の「CAE の理解を深める 106 問」を使って、学習対象者の CAE の実力測定やレベル分け、傾向分析等の定量化ツールとしてご利用いただけます。CAE 人材の育成をご検討中の企業様は是非、CAE ユニバーシティ事務局にご相談いただけましたら幸いです。なお、教育目的に応じた e-learning 教材カスタマイズ提供も引き続き実施しておりますので、気軽にご相談ください。

■ 30 日間無料お試しコース

「CAE のための材料力学基礎講座」のレベルチェック Part 1、第 1 章、第 2 章を無料でお試しいただけます。さらに、現在販売中である腕試しクイズ形式の e-learning コースの「CAE の理解を深める 106 問」の 10 問分も同時にご利用可能です。

無料お試しコースのお申し込み方法は下記の e-CAE University ホームページをご覧ください。

http://www.cybernet.co.jp/e-cae_univ/

PRESS RELEASE

e-CAE University について



これまで、セミナー形式でCAE教育を展開しておりますCAEユニバーシティが、多忙なエンジニアの方のために時間・場所の制約にとられないe-learning専門コースとしてe-CAE Universityを立ち上げました。企業内教育コンテンツの作成や、海外拠点向け教育（英語、中国語対応）などのご相談も承ります。

CAE ユニバーシティについて



「ものづくりのための、ひとづくり」をキーワードに、CAEエンジニア育成のための教育プログラムを提供しています。CAEの有効活用には、CAEをブラックボックス化せずにシミュレーション結果の妥当性を評価する能力が必要です。この能力を身に付けるためには工学・物理・数学の理論知識が必須です。CAEに使われている物理や工学の理論を含めた技術向上に繋がる知識を身に付けて、シミュレーションソフトを有効活用できるエンジニア育成を目指しています。

講義は毎回同一の講師が担当しているため、講義内容は常に改定が行われます。また、講師ミーティングなどを開催し、講座間での連携を図るようにしています。そのため、大学における一貫教育のように各教科がつながりと意味を持ち、真に知識を体系的に学べるエンジニア教育プログラムを目指しています。

名称	CAE ユニバーシティ
開講期間	年2回開催（各一連の講義は同一内容）
目的	CAEツールに採用されている理論・法則を理解することで、ツールが持つポテンシャルを最大限に引き出す能力を身に付ける。
対象者	設計・開発においてCAEツールを利用、または利用予定であり、より効率的でより良い「ものづくり」を目指す方。
講師	対象分野で活躍されている、大学の先生及び民間企業のエンジニア
会場	サイバネットシステム 東京本社（秋葉原）
URL	http://www.cae-univ.com/

サイバネットについて

サイバネットシステム株式会社は、科学技術計算分野、特にCAE（※1）関連で多岐にわたるソフトウェアソリューションサービスの提供を行っています。

エンジニアリング分野におけるCAEシミュレーションソフトウェアの提供・技術サポート・コンサルティングを通して、設計・開発・製造各期間の短縮化や品質の向上をはじめとする様々な顧客ニーズに対応しています。また、企業のインフラ構築に欠かせないセキュリティサービスやIT資産管理、PCセキュリティ管理など、ITソリューション・ソフトウェアの提供も行っています。さらには、技術者育成を支援する教育セミナーの実施やコンサルティング、受託解析などの技術サービスも提供しています。詳細は下記Webサイトをご覧ください。

<http://www.cybernet.co.jp/>

注釈

※1：CAE（Computer Aided Engineering）：製品が市場に投入されるまでには試作・検証の工程が欠かせない。これらをコンピュータ上でシミュレーションすることにより、開発期間の短縮とコスト削減が実現される。このシミュレーション技術がCAE。

本件に関するお問い合わせ サイバネットシステム株式会社

- 内容について
CAE ユニバーシティ / 川口
TEL：03-5297-3692 E-MAIL：info@cae-univ.com

- 報道の方は
広報室 / 渡辺
TEL：03-5297-3066 E-MAIL：irquery@cybernet.co.jp